月刊アシスト

平成２３年８月１０日号　https://assist-web.jp　y-takeda@aoyama-web.co.jp　編責　武田祐巳子

月刊アシスト

―夏期講習前半をふりかえって―

早いもので、夏期講習も前半が終了。充実の前半を振り返り、ここまでの感想を聞きました。その一部をご紹介。

●これまでの夏休みとは、全然くらべものにならないくらい勉強してますっ。

●間違い直しでたくさん書くので手が痛い…でも単語とかけっこう、覚えたと思う。

●５教科毎日やるのはとても大変ですが苦労してこそ受験生なのでめっちゃ張り切ってがんばっちゃいます♪♪よろしくお願いします。

●塾に滞在した時間、三日で四十時間……これからは早く帰れるように頑張ります★☆

後半も、皆さんのがんばりに期待しています。まずは、出された宿題をやりきろう！事故や怪我に十分気をつけて夏休みを過ごしてください。

〜成功、幸運〜引き寄せの法則

母が珍しく「お母さん、行きたい所があるの」と言う。「どこ行きたいの」と聞くと「宝くじ買いに行きたい」。

先月のこと。保護者面談で「宝くじで二百万当てたことがある」という方がいた。私が驚くと「でも周りの人も結構当たっていたし」と言う。

「引き寄せの法則」をご存知だろうか。良いことも悪いことも、強くイメージすることでおのずとそういう結果に導かれていくのだという。

「このジャンケン、負けるな」と思って実際に負けたり「今日の単語テストは満点取れる気がする！」と思うと実際取れたりするのもそうだ。

さて、話を戻して、宝くじ。日本一有名な西銀座デパートチャンスセンターは、発売中最後の大安吉日ということもあってか、長蛇の列。人気の一番窓口は四十五分待ちだったので、私と母は、二番目に列の長い、七番窓口に並んだ。

前日に買い物して七七七円だった私は、絶対当たるイメージで、普段買わない宝くじを21枚購入。7＋7＋7＝21。そして、私の誕生日が21日。

……間違いなく、当たるな！

『二十一世紀に生きる君たちへ 3』

司馬　遼太郎

人という文字は、ななめの画がたがいに支え合って、構成されている。そのことでも分かるように、人間は、社会をつくって生きている。社会とは、支え合う仕組みである。

自然物としての人間は、決して孤立して生きられるようにはつくられていない。このため、助け合う、ということが、人間にとって、大きな道徳になっている。

助け合うという気持ちや行動のもとのもとは、

「いたわり」

「他人の痛みを感じること」

「やさしさ」

という感情である。

この三つの言葉は、もともと一つの根から出ている。根といっても、本能ではない。だから、私達は訓練をしてそれを身につけねばならない。

その訓練とは、簡単なことである。たとえば、友達がころぶ。ああ痛かったろうな、と感じる気持ちを、そのつど自分の中でつくりあげていきさえすればよい。

この根っこの感情が、自己の中でしっかり根づいていけば、他民族へのいたわりという気持ちもわき出てくる。

君たちさえ、そういう自己をつくっていけば、二十一世紀は人類が仲よしでくらせる時代になるのにちがいない。

夏休み中は、授業日程や休塾日が変則的です。詳しくは、夏期カレンダーをご覧いただくか、校舎までご質問ください。

自治会企画「坂川でＥボート」に参加しました。また乗りたいね！

相談コーナー

教室担当者に相談しにくいことや、塾全体へのご意見ご要望は本部へお電話下さい。なお、生徒さんの学習相談、欠席連絡、科目変更、各種費用等のお問い合わせは、お通いの教室にお願いします。

新・個別指導アシスト　本部
０４７（３４６）２６２２
平日　午前十時～午後八時